

令和5年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	肝付町役場		代表者名	永野和行	
担当者部署	デジタル推進課		連絡先電話番号	0994-65-2513	
担当者役職	課長補佐	担当者氏名	中窪悟	連絡先E-mail	
住所	893-1207 鹿児島県肝付町新富98				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	古川 泰人
評価	よい
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	今回の派遣において支援できる範囲の共有と、目指すゴールの設定を事前に行った上でアドバイスを受けることができた。
アドバイザーへの要望事項	特になし

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

3-1. 対応日・時間	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	期日・支援内容の変更あり	WEBでの手続き日	受付番号
	令和5年12月14日	支援・助言（実地）	有	令和5年11月20日	1199
	実施した派遣日	実施した支援内容	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和6年2月21日	支援・助言（実地）	13時00分	17時00分	
				活動時間（分）	240
3-2. 派遣場所	会場名	肝付町役場	最寄駅	鹿児島中央	
	所在地	鹿児島県肝付町新富98	最寄駅からの交通手段	バス	

4. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="radio"/> 掲載可	https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past-year-all-houkoku/
------	--------------------------------------	---

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	人数
	デジタル推進課（職員）	2人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	・異なるベンダーによるGISが複数導入されているが、相互に連携できずデータの鮮度も一定ではないことから全体としての利便性が低く、それぞれに運用と保守が発生しコストが重複している。 ・アーキテクチャが古くデータ連携基盤や自治体標準化システムなど様々なシステム間連携など今後の継続したシステムの開発と運用に期待ができない。 ・それぞれの課において独立した運用を行っているため担当者がデータ連携に対して当事者意識が薄い	
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	市内においてGISの課題と目指すべきGISの姿を共有し、データ連携の必要性を理解する。	
アドバイザーに支援を受けた内容（具体的にご記入下さい）	13:00～15:00 各部署に行ったヒアリングへの助言 15:00～17:00 GIS導入にむけた整理への助言	
支援を受け改善又は解決された内容（具体的にご記入下さい）	第2回、第3回を通じて実施した全庁的なヒアリングをもとに本町が求めるGISの在り方について、ディスカッションを行い大まかな方向性について整理することができた。	

具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。 ⑦その他	⑦その他
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	特になし	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	④予算以外で、今後取組む事項がある
事業の最終的な目指す姿	R7年度での住民公開型GISとしての導入	

なおくその他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

